

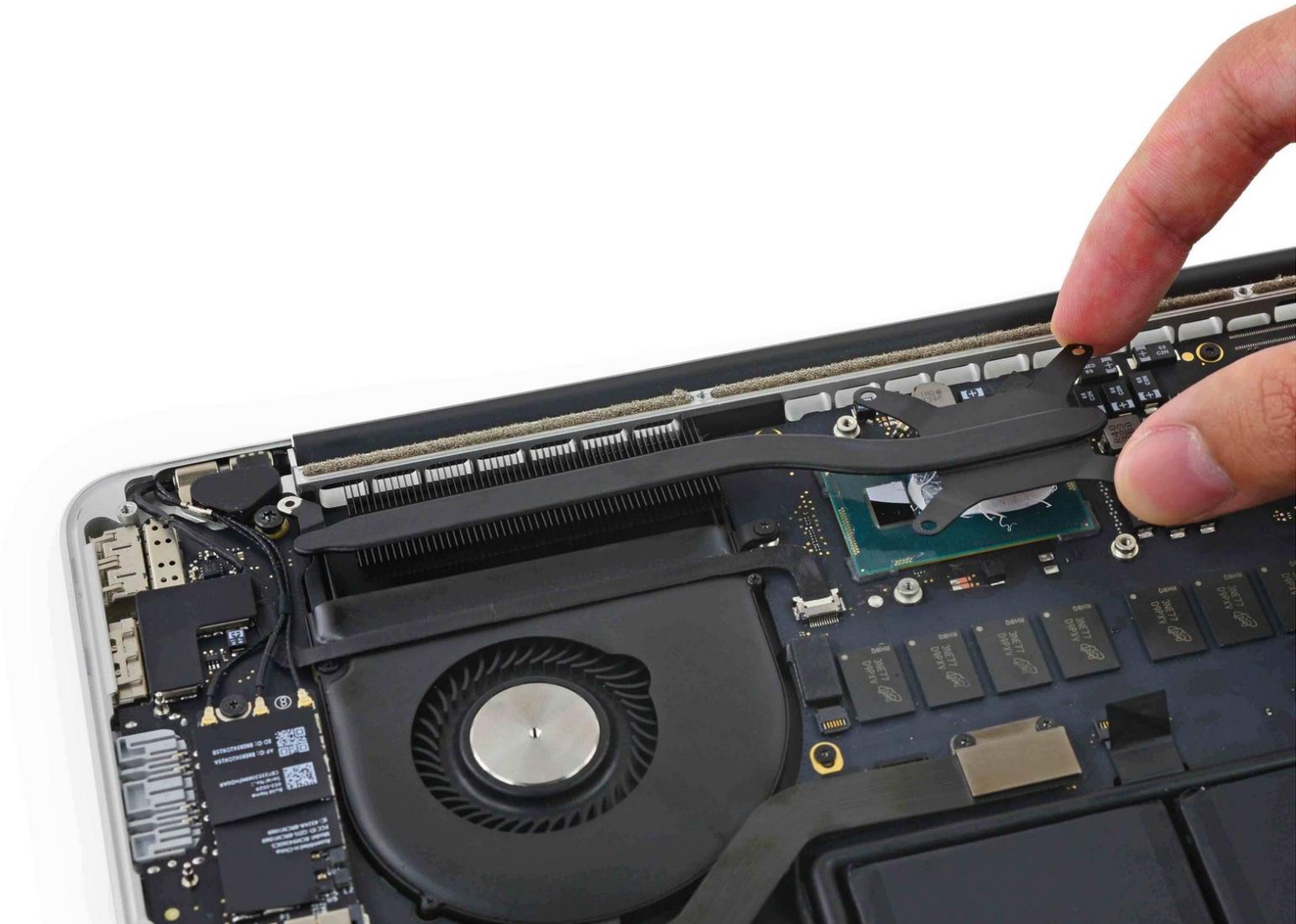


# MacBook Pro 13" Retina Display Early 2015

## ヒートシンクの交換

MacBook Pro 13" Retina Display Early 2015 ヒートシンクの交換をします。

作成者: Andrew Optimus Goldheart



## はじめに

ヒートシンクを交換したり、取り外すにはこの手順を参照してください。

### ツール:

- P5 ペンタローブネジ用ドライバー (Retina MacBook Pro/Air用) (1)
- スパッジャー (1)
- T5トルクスドライバー (1)
- Arctic Silver ArctiClean (1)
- Arctic Silver 放熱グリス (1)

### 部品:

- MacBook Pro 13" Retina (Late 2013/Early 2015) Heat Sink (1)

## 手順 1 — 底ケース



- 上部ケースと底ケースを留めている次の10本のネジを外します。
  - 2.3 mm P5ペンタローブネジ-2本
  - 3.0 mm P5ペンタローブネジ-8本
- この修理では、[各ネジの装着位置をメモ書きして管理](#)してください。再組み立ての際は、デバイスにダメージを与えないよう、正しい場所に装着してください。

## 手順 2



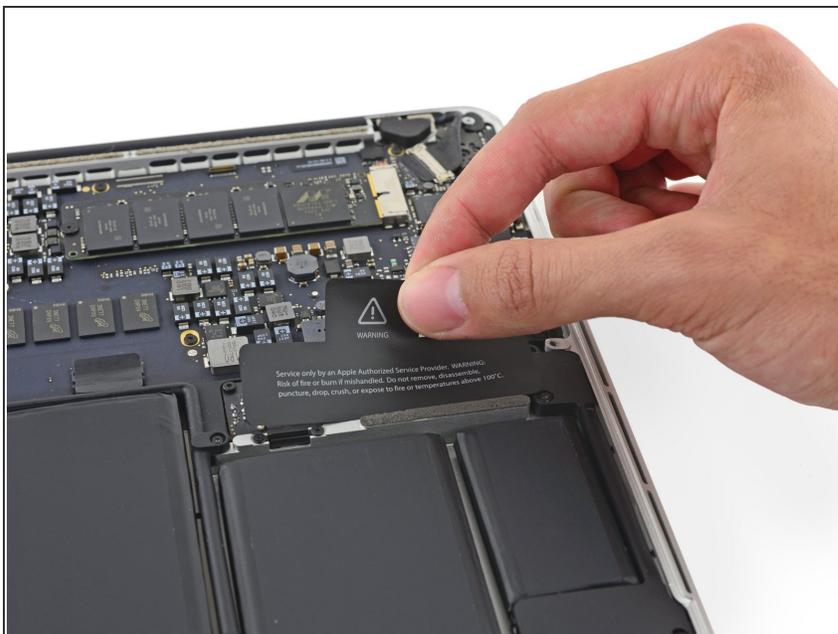
- 上部ケースと底ケースの間に指を差し込みます。
- ゆっくりと底ケースを上部ケースから離していきます。

## 手順 3



- ❶ 底ケースは上部ケースと2つのプラスチック製クリップで中央付近に接続されています。
- ☑ 再組み立ての際は、丁寧に底ケースの中央を2つのプラスチック製クリップに接続するように押し込んでください。

## 手順 4 — バッテリーコネクター



- ❶ 必要に応じてバッテリーの接続ボードに留められているプラスチック製カバーを外してください。

## 手順 5



- スパジャアの平面側先端を使って、バッテリーコネクタをロジックボード上のソケットからまっすぐ持ち上げます。

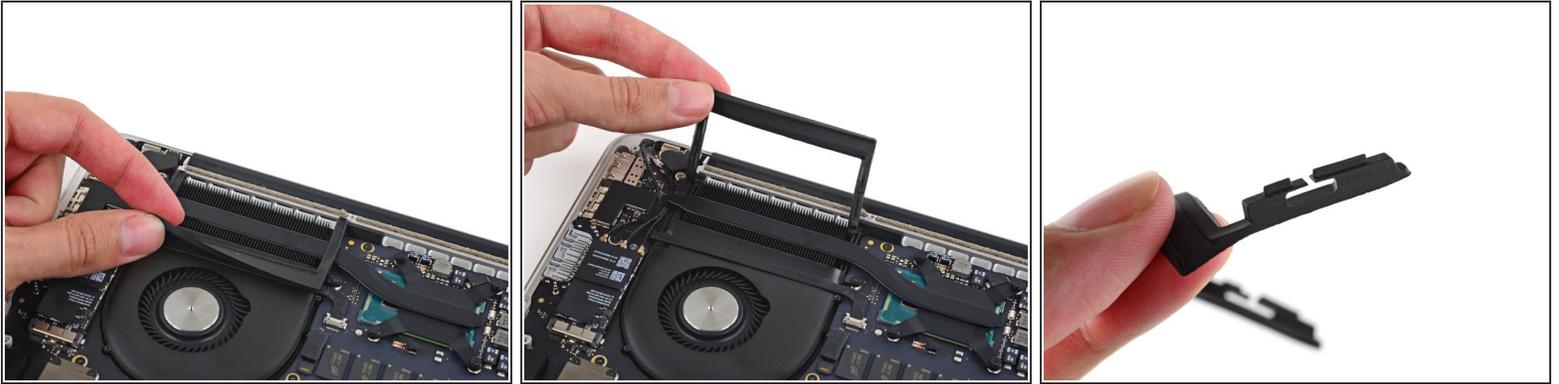
**!** コネクタのみ持ち上げるよう確認しながら作業を進めてください。ソケットには接触しないでください。ロジックボードに永久的なダメージを与えてしまうことがあります。

## 手順 6



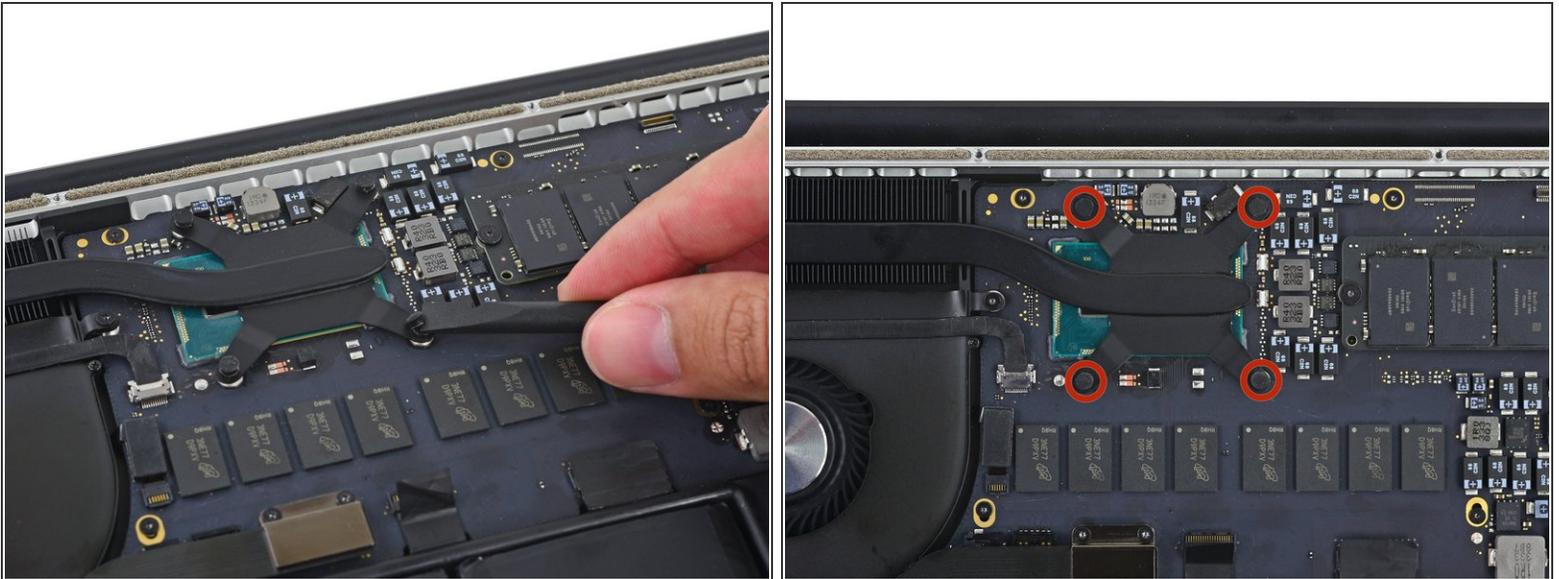
- ★ 修理作業中、アクシデントによりソケットがバッテリーコネクタに接続しないよう、折り曲げて邪魔にならない位置に移動させてください。

## 手順 7 — ヒートシンク



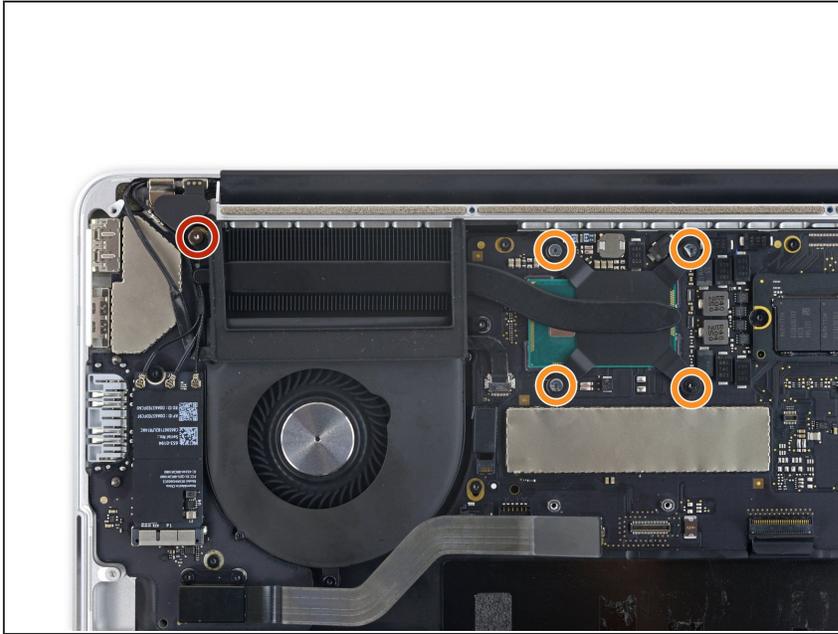
- ヒートシンクの端からゴム製のファンバンパーを丁寧に取り出します。
- ☑ ファンバンパーはヒートシンクの周辺に巻かれており、ファンダクトの溝に留められています。再組み立ての際は、タブがファンダクトの溝にきちんと装着されているか確認してください。

## 手順 8



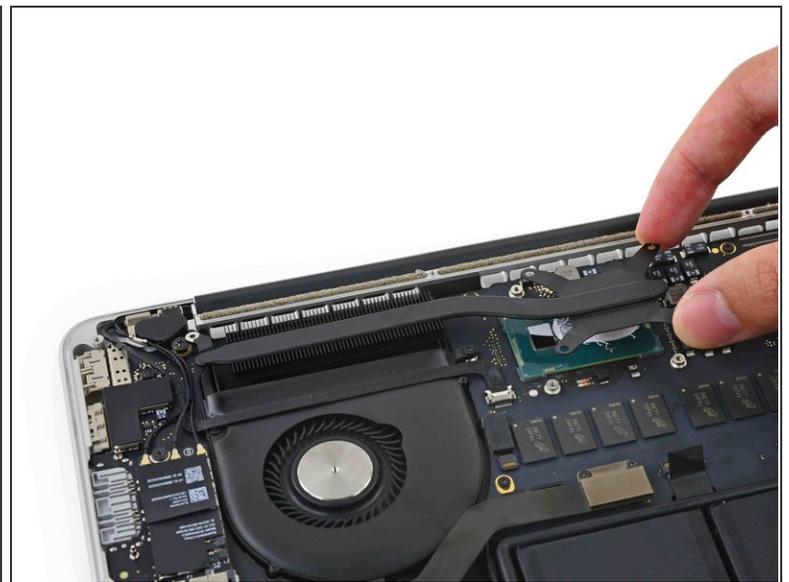
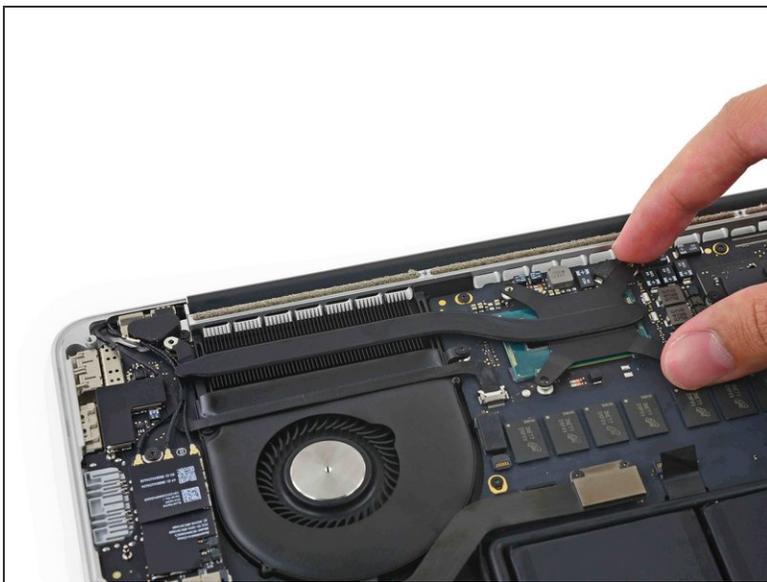
- スパッジャーの平面側先端を使って、4つのフォーム製ステッカーをヒートシンクのネジから剥がします。

## 手順 9



- ロジックボードに留められたヒートシンクから次のネジを外します。
- 2.7 mm T5ネジ(シルバー)–1本
- T5ネジ(黒)–4本

## 手順 10



- ラップトップからヒートシンクを取り出します。

コンピューターを再組み立てする際は、放熱グリスを付着する必要があるため、[この手順に従ってください](#)。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。